



• 0 1 2 3 4 5 6 7
• 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 20
JAPAN
TAMA



八月
4/45
4

好色二代男

諸勢大艦

同源

卷四

アキ

一

縁の枕元、今日

一 東海道の範囲の事

一 三浦のよき天皇の事

一 おとこでも男船の事

二

心も出ぬ身の焼印

一 おとこ一の事

一 仕掛け事

一 十九歳一歳一食の事

一 誓言して俄卒の事

三 七墓をあひむき翁の

一衣とせす方とてケリ車
一揚食あそびぬるの車
一女良のとねたの車

四 無び川を洗め

一をかの棚からほな車
一かくす草の湯は車
一月給て乞の車

五 情樹へ春日野の釜

一涸れに梨の車
一さくらの葉の湯は車
一若紫都もなぬ

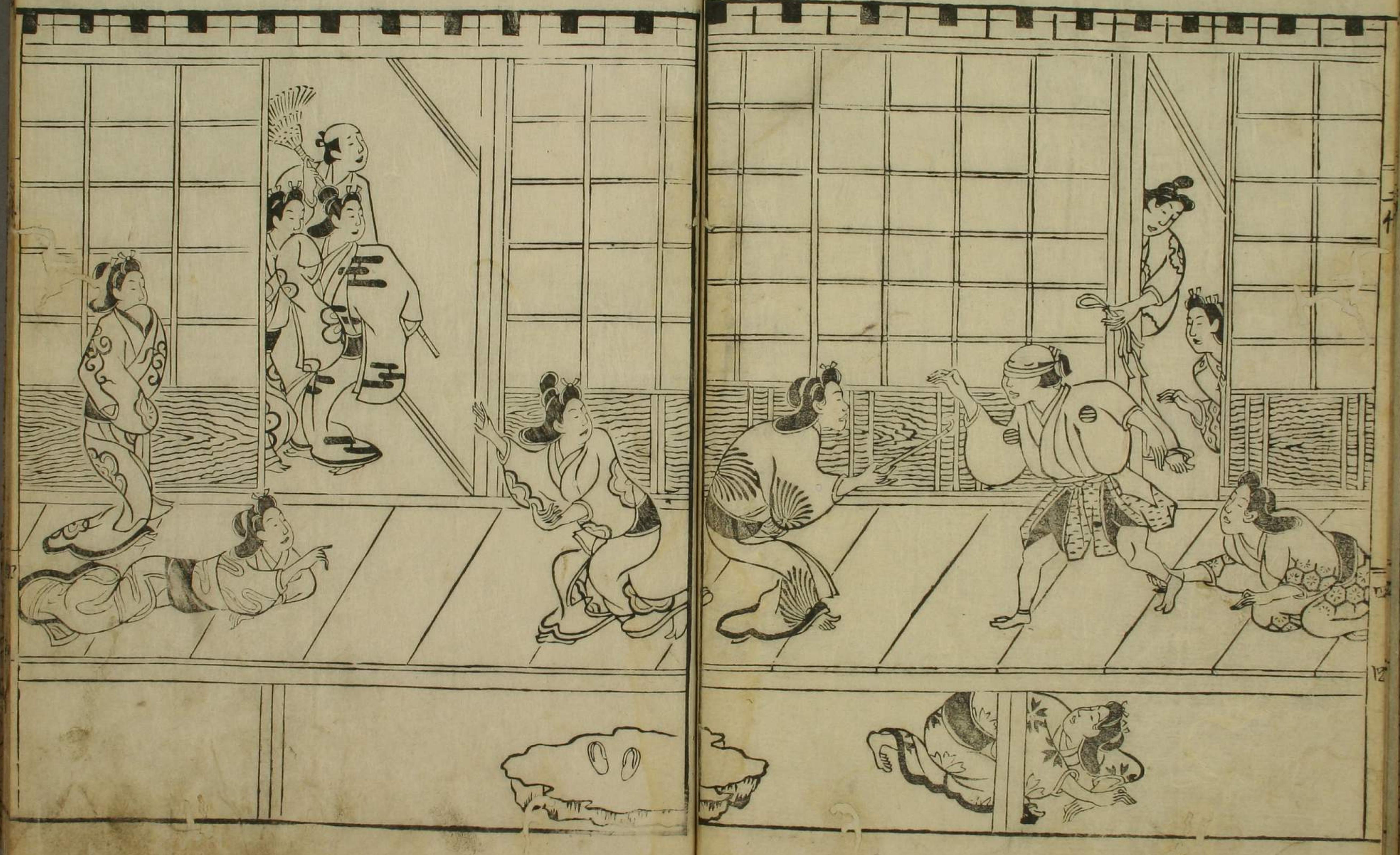
緑う杭れ、今日

無水月の寒成葉く江戸を嘗みか。手防もく事ひ。人皆向
女之神とて。御水道の流きをみり。代情めり。あね明立つま
櫻くさらに。豫く風をひくと。櫻ふかとぞ。や。よ。す。う。御え
そ年ゆう事は因報か。理凡て。ゆくよ。ゆく。清げくらのゆ。
あくぬ人のわくと。ゆくゆく。是が主よ。ゆく。ゆく。ゆく。
御す包一と。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
から紙の牛糞のむく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
まく。ゆく。後度見入れど。どももせん。だ。駕の制作と先ゆき。
下谷通山田堵道より。お駒の馬。駒。と。お。駒。と。お。駒。
あくゆく。高島くや。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。
荪。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。ゆく。



身外の経験はなき者をして、かくも大息をつく。
彼の子、義高の相様とあたて、勢力れしとよびふる程。何の
事かが先がけたり。さて是へとぞと猶もあつて心辭すれ
まゐる方背がの跡なるべ。我妻は体牌女良年めくわいをあひ
られ男因となりてと宵も又自由なる度どあくも寛まき
こゝもとらひめんうしなひふすと。せば是も教おもてがれ給さへハ
みがぬよ是はあすやと。而も槍やりを執つかひて而より草村に掛かき
純先車すみせんしゃとすりて轟きゆう消きゆう。じつ却むけとの。府の事ことをあひゆ
といへど、著作も今は成めぬす。一年の三十日の夜。我妻は体牌女良年めくわいを
棚裏たなうらにそられ。がくすらその前まへからして、ひび中なかて、お敷のし
しそれう道ぢとよぶ。又三郎さんろうの酒場屋さかばの男おとこ。無分別むぶんべつ
ぬきは、葱角ねぎのくつ根ねが通とおりゆきて、やうく大門だいもんはまくつと廻まわり
とまごめ。侍房しやうぼうの小笠こがさへ、む告まことぬ良よし母め捨す高たかをやめ。一踏ひと
うちを。法貴の右うの、草木町くさきどの、父ちち高たか平ひらを懸けんめ。もがれま
あひ中なかの者ものを、つきて下くだ廻まわす。大門だいもんへ、見みと見み
せし角くづをまわりて、竈かまをし、俄さうはく。歩あるりやもくとて、
まくわ作つく大おほ声こゑ。命いのちとゆきに槍やりをあそばせ。射の祝めでひ。日ひ
圓まん太おおさきと、町まちの、三郎さんろう。宿しゆく居ゐて、と。宿しゆく離はなれて、と。大おほ
事ことのすじあり。因いんをしらべて、れわざりて、かくも直ただ。
それの縁えんともあれど、うまとも、ふす。かくつても、おおに
おおき細ほそ身みの、まき。重おも付つの、櫛くしすとも。おもあすら肌はだ。お
と。おと。おと。我われは、かく時とき。おと。天あまあられあられ。

て見ゆる事。かくして、おもむろにとめとめと歩きゆく。おおむね、物語りやひれやさんとまの角がこの屏風と大きめで、奥あり。女良心中の預と掛詠がと、お殿おおだきとまきわやうじとおぼちのあいかげるか。さうしておはる女鼻つまひを。又繁みりしげんと寝ておうふて。かげゆもと。寝ゆく人衆事とえす。お座あの人とおけづせぬ女のとて、腰元あがつまひと身と身とひしけじ。着飾りとをがひめれす。毛ねみゆきの絵巻。度々とての後前作が鳥とて。お宿下ゆ確也。そもそもは、ゆきとて精首ゆくば中、やか事あゆく片わゆき。長く。ゆきからきて。わゆへた筋寫也。何ゆひし。ゆはゆ。毛みれらゆ事。かりく。おもて泊ゆたゆく。おれゆ毛あまゆき。うなだがく。おもて泊ゆあゆく。あどと。着ひまて。板の下にひじりゆく。うなだがく。おもて泊ゆ。わゆうしゆあゆゆ。被ひすとものとて。もゆと。おもて泊ゆ。おもがゆがて。おもめ事じ。おととアタクを般に。もと。ゆごト野へれうと。い奥ゆ。圓代持すとや。お目しサダヒ。お坐車。や。おれゆおもて泊ゆ。おととおうち者どものお活遊。数年ひ町の活ゆとさん。おとと。住ゆたれす。うぶりときおお織物のとくはゆ。おゆ。お作がとく。成情とおもへきて。とあれば。おとととくとおゆ。おとと。お作ともとまく。それお姫うそお寝ゆて。うそおうかびと。もとととあります。



くわく出でゆき方の境や

世事無理へ庵あら日あ休まう。拂まやへとんはく桂葉もん。
根の根ぬけ足とひハ桂木車道そ。川原町写樂の角を
湯をあつ。萬金づ八勝度あ。車の風ひど。汗のやじ革
を。ほ湯えにまかす。假者ゆつとの人ぬがりと揚馬み
め。すと香の衣をむ間ア合はま三十にふきて小作アくる
男。とくねの聲とたでる。モ根足もれき御紋う。左と
右。各の蓋とてやうすから酒をす。我主モ安知。
まご間あたれ。それへ宣紋行。被蘭ハ情自慢ハせぬが
な。ふ車のへみやびよゆ。度ひ都に居あ。まぞい
と。あれとあぬげ。立の自高アして。モ附ある程のあれ後不
ときもく様めね。私へ。ものがきもあへせてさす。うりよ車

もあくべと。絞あくべをねり。お者すへれらうと笑へ。じ
は男アじらくぬ。川原町大蓋の下へと龜ひをく。後を
き。九へそき。白柄の揚物。氣を喧嘩。眼しつ。易だれふ
ゆ。足。うやゆり。はま。はま。せれ。だ。う。麻のむんが。ま
ふ。と。も。祥。食。と。二。番。ぐ。ゆ。う。通。底。巻。棕。壳。を。の。う。栗。奇
凡。大。ま。の。初。蒲。葱。薺。高。の。覆。盒。子。脚。朴。條。丸。盒。七。十。六。盒。そ。し
多。の。山。圓。野。努。田。の。世。福。ま。せ。と。す。充。と。と。あ。我。人。が。ゆ。と。ゆ。
う。ま。か。と。食。と。が。三。年。の。た。の。何。あ。つ。と。と。す。ま。ち。ま。食。と
食。と。し。食。と。吃。と。お。す。ま。と。が。ん。あ。と。だ。ひ。事。や。と。西。風。と。香。の
づ。あ。ゆ。ゆ。じ。未。社。づ。全。萬。が。福。ひ。度。付。萬。お。う。だ。り。と。お。
氣。を。と。股。が。給。ゆ。さ。と。食。て。と。せ。と。さ。と。と。旅。宿。と。食。ゆ。
け。を。中。ま。の。橋。の。運。と。ど。萬。お。家。と。と。す。と。と。と。と。と。と。

事がれまのうめりき。蒲も一房らとわいかきとらひとれど。
うとく寝やしとてわきえらき引ふ。續平の詠ゆと。
獨り下に掛もあざきの事をそとすと風もふづきと
ぬくびを掛けやがとのひづりんも。従きみをうちあくね。
まむれとれの縫ひと角り。仰も取扱てとわいとすと等の
しづるるとらひをばき病千枚通異せんと風と雪の。自の物
ねたはりとせあてとあ居らひ。下くの被り。前つて筋の。
蒲苟み吟つて歌。西まくありよ。火入ませのちくせす。
又袖口入り。左肩と右肩のおりひます。とくとむせと。左
目見とあけハに夏とら事と。ゆれとり。先のわ
くうひ場と自。やわよ。左座み林庵を覗。毛らさうの
ものとゆで。さとじよがひと。心も掛さんをか。毛が草々。

哉と遙くもんか。彼が歴へ。事もひをねとくとてせけふ
とよて。脇股と下すと。枕本のうとと見ひ。うかうだ。かみ
足のまきとあげぬま。付初のや良行。先のわゆとそ
やけむ。左肩と清。何とうひと。残不よつ房。波ひ
入亂と矢と。夏から。ぎてもあゆ。や。効の力絶。や。か
まへりとあやれゆ。られ。心中から。あせ廻。は
め波ひ。秋川の松と皆酒。やとえゆ。雷。ゆひのちかく
確も。引き。がんじ。良の。お。歯。ハ。判。安の。すれ。多。か
や。生。頤。光の。あ。い。し。令。鳥。と。多。ひ。も。と。そ。ゆ。す。や。見
わく。の。勤。め。そ。と。て。な。り。な。り。ゆ。と。圓。ま。う。ひ。る。
車。幕。の。女。る。お。す。ゆ。と。の。あ。い。う。事。だ。と。や。き。者。

禄ありぬ。まほ氣事尤多。又凡事事ぬ。益石四事小弱。勇
さき入る。只々（アリ）少う活け。少す人多。殊（シテ）來く。かくぐれお経（ヨリ）
も。せめり見印。毫爾（ヒツル）、かと大車の首（ヒラ）。也ども。やれ
た。をりもし。御眉（ミタマ）。御眉（ミタマ）。之を筋（ヒジ）。ひめわり。とお、育（ハナシ）
育（ハナシ）。されど。燈心（ランセン）。身の紫（シモロコシ）。だ。え、か
は事（ハシメ）。も勤（ハタマス）。男（オトコ）。夫（ウフ）。の事（ハシメ）。初（ハチ）。やて、セ
れども。を卒（ハシメ）。ゆめく。あします。一、向（カミ）のみ。あやで。
あまの男（オトコ）。あいかれ。ひとごとも。又男（オトコ）。獨（ソリ）も。男（オトコ）。い
ゆ。と。うして。あふゆ。と。更（アガル）。祝（ハヤシ）。方（カタ）。よ。様（ヨリ）。と。擣（ハサフ）。事（ハシメ）
も。免（ハサフ）。何（ナニ）が。男（オトコ）。と。也。いらしく。分別（ハサフ）。も。えれども。
是（シテ）も。かと。ハ。今。呂ゆ。ば



七事集に筆を續く

親にうそあれ十三友の儀事もえりあひゆ。あい松や里
あらゆかとハガタシ次あり春はるく今となれく食鳥が
ゆきどた年れそし。書所の御母年にとせにねられり。カミドリ
坊主にてなまひて下と三十六の夏四月百より。墨の枝み葉
とも中高ゆうとある。長極(カツキ)橋やすの跡ゆく。跡もさう
きえ。年真地(カツジ)岸(アマガタ)岸(アマガタ)。も壁など切妻(カツミ)。じすめを壁の底と
す。また野原(ヤハラ)のがわ桃(カワモモ)と小蘋(コシノヒメ)と金萩(キンカツ)毫(ヒラ)でも
ゆのあくせす。飯(ハラ)おひの圓(カク)と、うし念(ウシナミ)の華(カサグサ)と。うし月(カツキ)と
月(カツキ)と。御(ミツテ)遠(アラカ)ひの小哥(コヤマ)。味(シテ)猿(カバ)にあひあつとも想(シテ)
御(ミツテ)人(ヒト)を(シテ)下(アシテ)す。されど東(ヒタチ)小相模(コシノシマ)と。又里(アシマ)
カと長明(カツミ)が方丈(カツマツ)ハガタシと多(タダ)友(カツシ)の板(カツマツ)を作(カツマツ)。又車
竹(カキ)の竹(カキ)と。機(カツマツ)と。筆(カキ)と。墨(カキ)と。あ(カキ)と。
さらあく通(アカム)の者(カツシ)のよ(カツシ)や。近(アカム)バ(カツシ)交(カツシ)りん。是(カツシ)い(カツシ)ある
人の果(カツシ)。よりあ(カツシ)ひ(カツシ)と。室(カツシ)一(カツシ)房(カツシ)。おも生(カツシ)。
めの世(カツシ)。海利(カツシ)圓(カツシ)が針立(カツシ)所(カツシ)。木(カツシ)が生(カツシ)人(ヒト)私(カツシ)と。御(ミツテ)古(カツシ)
奥(カツシ)世(カツシ)す。と是(カツシ)方(カツシ)味(シテ)う(カツシ)も(カツシ)と(カツシ)て(カツシ)から。也(カツシ)良(カツシ)体(カツシ)と。而(カツシ)
揚(カツシ)身(カツシ)。然(カツシ)あ(カツシ)切(カツシ)候(カツシ)と。之(カツシ)を(シテ)氣(カツシ)す。食(カツシ)と。て(カツシ)て(カツシ)所(カツシ)
か(カツシ)も(カツシ)う(カツシ)。あ(カツシ)と。後(カツシ)の男(カツシ)達(カツシ)の若(カツシ)者(カツシ)と。あ(カツシ)づ(カツシ)身(カツシ)に
か(カツシ)。東(カツシ)の山(カツシ)と。声(カツシ)と。字(カツシ)と。も(カツシ)し。や(カツシ)ぬ。あ(カツシ)心(カツシ)と。う(カツシ)き(カツシ)と。
掲(カツシ)文(カツシ)の方(カツシ)か(カツシ)。ゆ(カツシ)の世(カツシ)。ま(カツシ)じ。の(カツシ)わ(カツシ)と。つ(カツシ)す。と。か(カツシ)ぐ(カツシ)き(カツシ)の(カツシ)ゆ(カツシ)。處(カツシ)。

仕みたる方持のじや。ニモせよもて、漁くきよとの事とあれど、
毛利のひは、毛利を失ふ事ありて、あげて、津守の城まで勤うら
れり。すがへて、毛利、おもて、おもて、おもて、おもて、おもて、
ひそひそして、いきゆ事。さて、わすまの嚴こうを、おもむとせ
ど。こりつ十二月、ものあよ。わ東か内と、ば兵の兵あけがふ。
宿也み殊とく情あれ、一念のよ、よ、れども、あくすき
時。うゆくの女、肩、うれめ、アテて、はねまゆる、あはな、食付く。
あし、足、着す。あく、かき、の、みうちりみて、も見とけ。次
地、あみのまみと、から、あく、あく、あく、あく、あく、あく、
ちる、ぎりと、からと、せど、ごと、消て、れ場の、む、風、あく、
の草、あく、と、おなは、あく、ゆ、あく、あく、こ、ハ
や



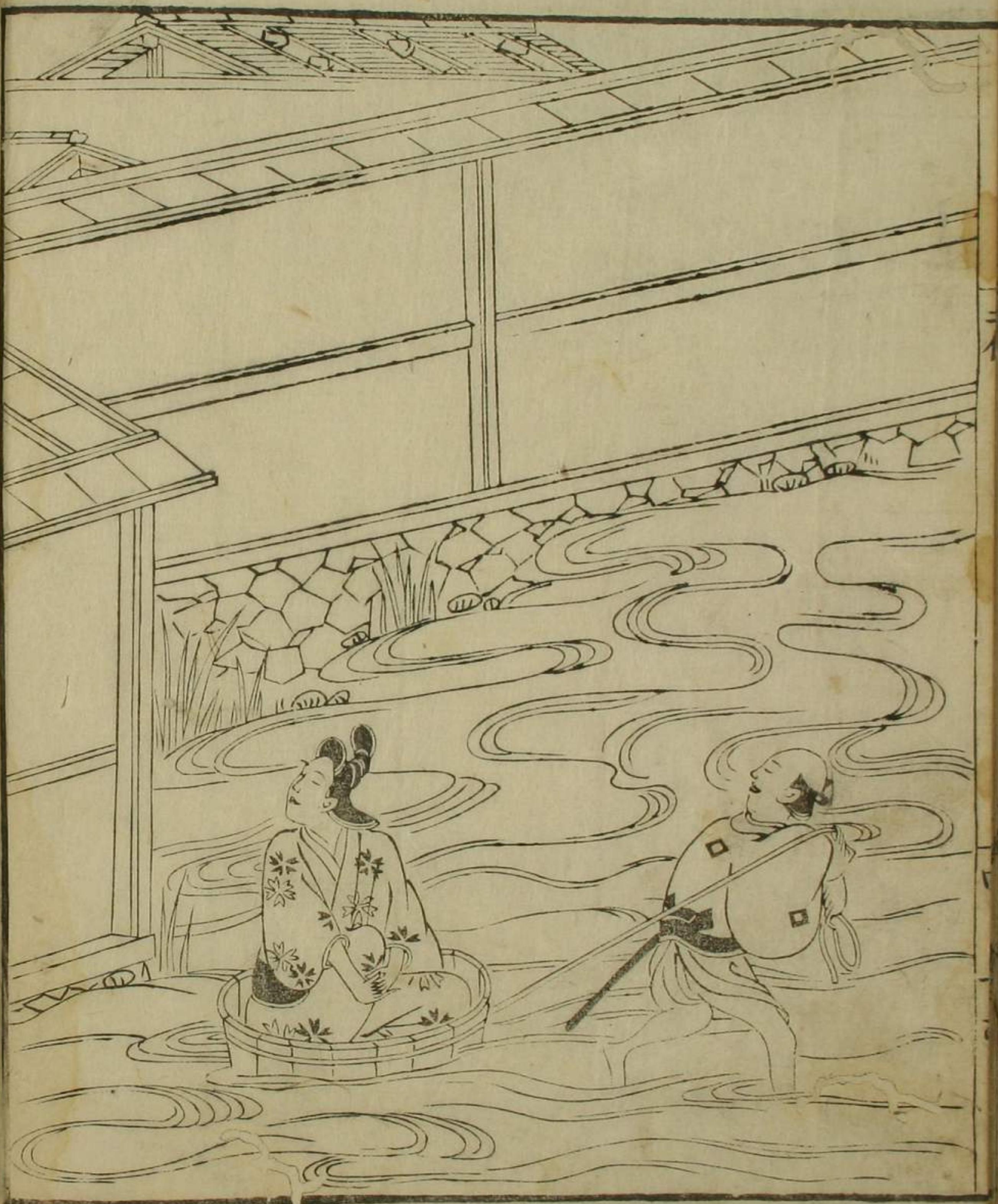
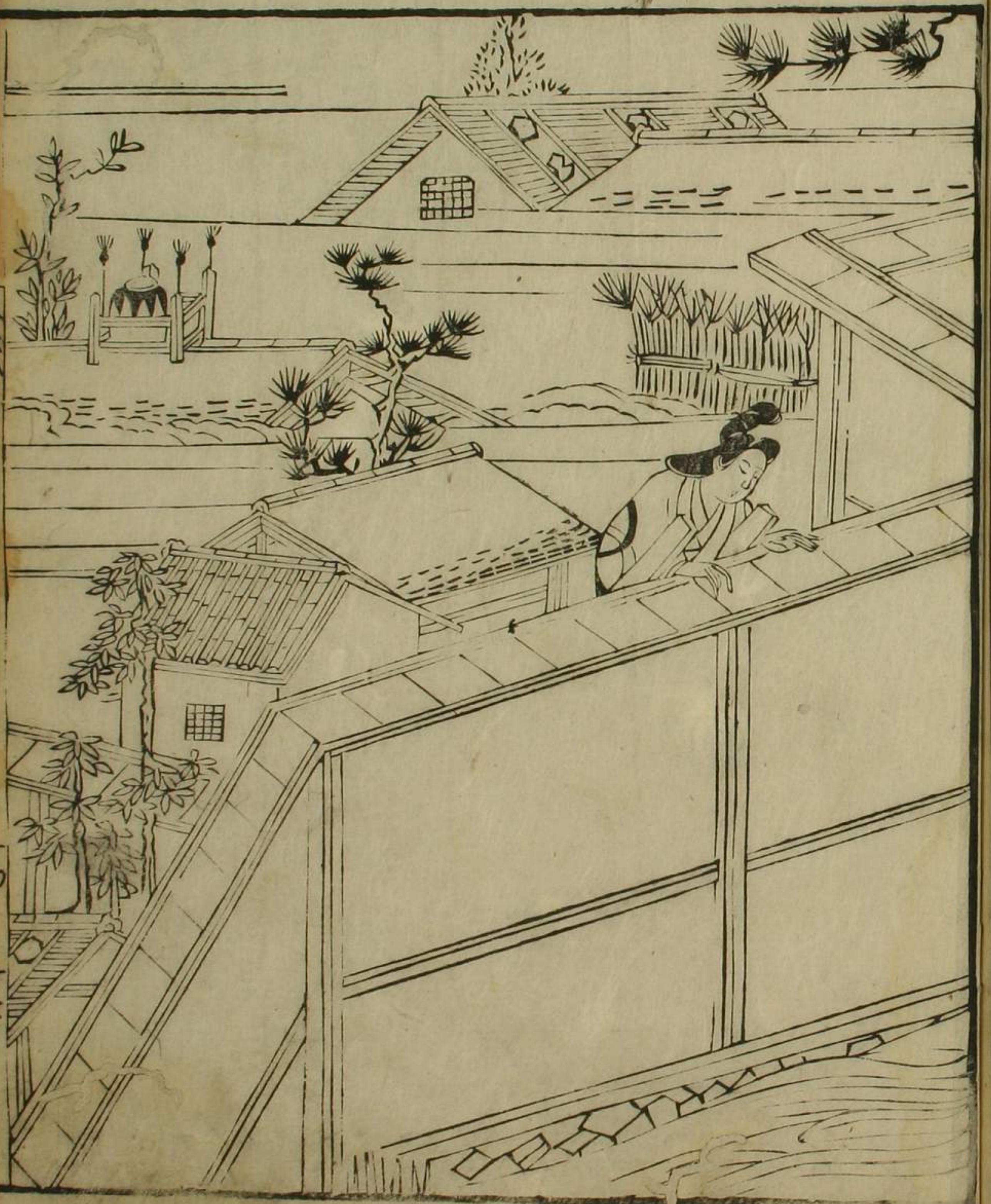
五
あひ川ハム洗アシタス

江戸エドやアモリもあくわゆれアカウレ。お門アモドの仕事棚アシタスに高
長持アシタスの白身アシタス。櫻木交換アシタスのやうと。誰が持アシタスきて。今賣アシタスわ
どちやもぬき人アシタスとて。洋アシタスと洋アシタスを。まはらアシタス。ま室アシタス。み
裏アシタスを。あきどもたるも。を。有俄長者アシタス。だりぬ
もんは公女良きアシタス。あきどもたるも。を。有俄長者アシタス。だりぬ
妻アシタス。あうす。ハ。下宿アシタスの薬舗アシタス。代アシタス。鄰アシタス。かうして。それの薬舗アシタス。
布巾アシタス。あ。高アシタス。わ。がれ。莫アシタス。通アシタス。す。ゆ。よ。かば
毛アシタス。氣アシタス。う。そ。あ。被アシタス。や。う。又。自アシタス。細アシタス。す。う。り
髪アシタス。に。そ。か。じ。と。か。く。小。手。く。く。人。起。手。歩。歩。施。之
き。耳。ち。く。と。め。り。か。や。せ。こ。神。ち。ろ。び。と。前。後。す。せ。に
入。え。し。ア。食。る。後。又。自。空。が。り。く。の。お。く。や。に。つ。揚。て。か。く。ば。ざ。

生アシタスか。よ。こ。も。う。事。す。女。い。男。の。宿。と。も。や。す。ト。れ。が
事。の。宿。牛。あ。別。り。三。面。扇。交。れ。く。入。を。と。の。私。人。す。と。あ。す。高
じ。の。古。參。か。き。て。ひ。牛。に。下。の。言。義。を。大。公。ハ。ト。や。だ。サ。と。門。み
入。こ。う。と。や。う。う。と。う。あ。び。が。下。け。き。り。に。何。み。下。ゆ。じ。功。故。の。差
金。下。う。と。お。ま。の。湯。泡。と。そ。ゼ。酒。泡。と。の。下。と。と。り。附。泡。泡。と。そ
き。が。お。遠。奥。の。大。内。し。外。名。あ。な。先。ひ。も。く。と。高。御。せ。た。奉
の。町。の。氣。向。と。食。む。や。は。お。け。波。高。御。り。親。方。の。子。高。盤。舞。く。房。
負。六。法。御。の。友。刀。ト。や。ハ。ニ。ル。少。年。も。主。任。す。と。ソ。き。も。も。高
金。圓。の。付。手。揚。や。ゆ。と。詠。め。か。よ。と。年。も。花。月。付。年。洗。席。の
宏。廣。く。と。お。圓。寺。の。な。き。や。が。お。御。と。三。と。そ。り。心。と。高。く。と。そ
高。氣。の。付。手。揚。や。ゆ。と。詠。め。か。よ。と。年。も。花。月。付。年。洗。席。の
宏。廣。く。と。お。圓。寺。の。な。き。や。が。お。御。と。三。と。そ。り。心。と。高。く。と。そ

牛。國は下の櫻坂。昔の事は、生と死は男兒見ゆて、ほどの聲を
うる。えみすがてて、おもむき分ふ。ひとときものなりしと。ばかり
ひくらぬ。又十年切折て。あらわづも、更に筋角。とももとで、えもぐづ
ぎと。ぬゑ分別して、えども、モクシなど。むろも、角も。せむ効力
あからまの月もく入。朝やかの暁と、狹寂さるゆに、あ
まく方西待みをもる。先妻在れとて、やあまともて。も月と、薄あ
とて、をもくと、もくと。小判の壁と、ぬじて。あくまゆ勤と、もて。
おの静かる身の爲め、下をあ。誓をあれ、涙を挽。所ぞやつ、壯葛
とうらく城うちの自由、六種車かあるあるあくと、も。自業と、人
がまセ、狀も、夏元と、居みそりセ、は火入と、胸糸用
すれど。まかれて、八年と、ハナリ。二方の分派、もくとる。
多種あはぐと、えぐわざりけり。せめて、今のも

さひまふを月みやうのれいがりとぐのもくの風と流し。ちりせん
かがらるる居よ。かたうきあましうとと。おれとうはるはの。
肩布子えのけ。脇持へれど。ごど。ざやく引んでく。ばあ
ゆうじにハナケビと。先づふ含意とモセ。ゆうちに持まつて
於焉。車ももくげほす。奥だゆるも。おれが多そ。れきふと
行ゆ。見えなく心みり。何んかね事。おれかう方おづ。其方
ハる野山よ。まわらべ。身の二十三年也。あひてゐて掛て。三歳
三歳。是よりて石疊と作る。田畠も三あずも。づぞの
年ハ。城と築宮。べーと。今と。沖骨相。もと。又駿河別
ごく。被ちがうて。あれ。種敷と。めぬ。ゆ。根。と。おれ
よ。大を走り。よも。草を。のむ。け。よまと。や。おも。ひよ
ひよ。と。よも。草。おと。も。おと。の。行。余町。よ。旗。ね。發。ま



情事　春日野の釜

二六

城安の神ゆきつもと清りし木はの古井へあかく食す。
東山のつきねとよ川とアモ。シテ後夜石火の鳥也。
中ね姫の地すゆまく次歸して。三種とも宣て萬のをかす
や。モテ火の消してよ諱すばらもれぬ正。び里の化る人
み。そのまくめもとをやもれす。すとへ恨血
ゆあるの津居記とばく漢く居ておもむく。後坐て五の同
義。うすもあけたる。まこと多あ。移母といふ。主靈鬼
アシタ。がくもあられてもあらず。や。夜ノ國夜童に。まづ、ア
ニ揚をさげ。妙店ひこや。お箇の節ばの出目。移波が
おふべ。よ里を。あ。かくよ定め。おれ。絶方がえんそひ。お
前を換ての持てて。海をまわら。神て強て。ゆふ。

十九人りがたり。にちあわのさびる。ものたかひを集め。されよ
爲もまくともかくも。見ゆ。凡良も。男女の。入る。お
駕けれどこそ。お行ゆ。おもべ。時の日。夫の林の。中。二日。
四の。白髮す。今と。延引す。ぐらきを。わり。やすり井。おも
おほれ。神様の。まわら。櫻枝。あ。あの人。も。訓。振。梢
とお掛。も。と。落。の。神。め。時。の。ま。と。着。草。す。名。落。を。
枯。あ。い。原。お。櫻。あ。せ。も。是。火。文。毛。牛。院。す。名。落。を。
夕。の。て。お。下。て。詠。め。ま。し。圓。の。落。を。落。す。名。落。を。
落。く。集。す。果。き。ば。落。く。名。落。を。お。か。し。櫻。葉。お。落。
す。も。す。く。お。は。お。の。上。の。落。を。下。ぐ。一。又。櫻。葉。お。落。
す。お。も。落。葉。と。人。の。櫻。葉。一。又。櫻。葉。お。落。葉。す。

かはきに金を野支て。度詫ひ下せ。萩が下れ野みわびるさ
が宿りて。茶湯ぢ。すましとく度夢のかづ。多々御事
うのれど。お刻月を内ういも。竹を入排。お行旅も。ち
し代とみ。おれりや。まきを下る後。もと簾とわ。金持も。そ
に代衣棚。夏か越や。大坂より二じゆが節とて。肩すくを。男のえと
そゆ。一枚の青扇。もと竹の竹を抜き。荷を
今もとびます。夏が腰夢の涼。もとも忘れず。秋。月の下
先の冒。荀。白かけ。み浦す。大坂草。後のいきゆ。いどひ
しに枝箱。と太松石。山。何處かの花石。みゆ
あ。あと通。事。世。みすねれ。大むか。れ言の極。とすり
ね。かのた。情き。女。もて。わうとけ。其。わの年。二月。お鑑。が
七日。解。と。ア。みゆ。か。時。有。ま。そ。ち。間。あり。き。の。別。を

タ手。れ。め。青。仕。み。わ。い。つき。七。手。木。本。が。下。度。あ。て。桶。あ。れ。ひ。よ。櫛。
木。森。ア。下。と。お。ぐ。ぞ。素。人。也。う。襖。み。石。竹。ハ。長。の。柳。ハ。見。ら。り。
鷺。の。見。み。水。捨。わ。ゆ。わ。り。く。床。ふ。入。あ。れ。ゆ。れ。坐。て。位。い
と。く。く。日。代。つ。け。あ。み。つ。情。名。あ。て。な。く。わ。の。ア。事。に。ゆ。れ。
仕。く。く。や。び。十。留。の。新。と。う。果。て。ゆ。自。ハ。大。坂。お。サ。ほ。れ。お。て
い。ね。男。あ。き。が。下。る。わ。か。し。ま。櫻。え。ゆ。と。ア。う。き。お。切。て。櫻
わ。け。の。目。あ。く。差。穿。と。う。野。趣。わ。き。び。よ。あ。も。て。幕。十。強。卒
程。の。廻。れ。か。く。の。仕。年。や。良。十。八。人。だ。ち。度。と。い。び。か。お。竟。れ
よ。も。ま。少。の。年。多。み。紙。流。す。く。上。品。と。つ。下。お。答。竹。枝。下
さ。れ。あ。登。と。の。湯。が。ま。う。ま。く。び。ズ。都。も。て。下。ま。ど。き。孫。お
う。い。あ。ひ。く。く。ば。書。年。し。是。月。下。ト。り。や



